

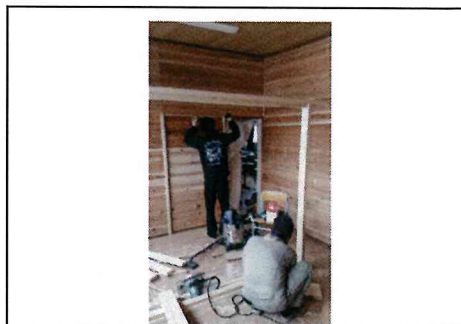
平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	社会的自立に困難さを持った子ども・若者の自立をはぐくむ教育相談室開設プロジェクト
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ぱーむぼいす (0269-67-0415)
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード・ソフト
総事業費	750,060 円 (うち支援金: 533,000 円)

事業内容

社会的自立に困難さを持った子ども・若者の相談スペース整備

社会的自立に困難さを持っている子どもや若者が、自分たちが必要としている居場所スペース(教育相談室)を、専門家と交流しながら自分たちの手で作る活動を通して、就労に必要な基礎的な力(職業理解、自己理解、社会性、協調性)と自立的精神の向上を図った。



【作業実習】

【目標・ねらい】

- ① 実習活動に参加するもの  
15歳から30歳までの若者 26名
- ② 完成後利用するもの  
小中学生 7名 高校卒業資格取得支援利用者 18名 その他の若もの 6名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 実習活動に参加したもの  
15歳から30歳までの若者 24名  
(高校卒業資格取得支援利用者、就労準備支援利用者の若者)  
実習回数 1.5時間×16日  
参加延べ人数 98人
- ② 完成後利用するもの  
利用者数 小中学生 7名 高校卒業資格取得支援利用者 18名 その他の若もの 6名

※自己評価【A】

【理由】

・様々な課題を持った子どもや若者、保護者の相談に対応できるスペースができたことで当事者や保護者に安心感を与え、行政機関からの信頼を得て、地域の中で支援業務に携わる機会が爆発的に増えた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・地域の子ども・若者の自立支援活動を広げていくとともに教育・福祉機関と連携しながら支援の輪を広げていく。
- ・利用者や保護者の安心感を保障する環境整備を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある